

第392号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



どう生きている



カット：本多紘子

酷暑の夏がそろそろ終わりに近づき、虫の音が秋の気配を感じさせる今日この頃です。皆様、お元気でお過ごしでしょうか。

この「ともしび」9月号を書いているのは8月20日ですが、今年の8月の異常な暑さと新型コロナウイルスの変異株オミクロンBA・5の大流行が重なり、愚僧のお寺のお盆参りの予定が狂い散々でした。今、疲れきっている体調の中で、この「ともしび」を書いていきます。

お盆参りの間、お寺の小さな畑は水がやれなかつたので、トマトもキュウリも全滅しました。それなのに雑草だけは勢いよく成長しはびこり感心します。少しの雨しか恵まれなかつたが、北海道や東北・北陸地方などでは台風の影響で線状降水帯が止まり、大量の降雨で河川が氾濫し住宅に浸水被害も起こり、心よりお見舞い申し上げます。

子供たちも夏休みが終わりに近づき、宿題に四苦八苦している頃ですね。新型コロナウイルスの影響で、山や海にも行けず、花火大会や盆踊りも縮小しているので、夏の思い出作りにくかつたかも知れません。それでも日本の将来を生きる子供たち、雑草の如く生き抜け。

9月は台風シーズンですが、近年は日本近海で台風が発生し、東海や関東・東北などと北寄りに通っているので要注意ですね。

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

先月号の「ともしび」にも書きました自民党の安倍晋三(67)元首相が7月8日に、奈良市の近鉄大和西大寺駅前で参院選の街頭応援演説をしていたところ、元海上自衛隊員の山上徹也(41)に銃撃され死亡した事件は、悲惨な事件でした。

山上容疑者にとつて、「父親が死亡後に、母親が旧統一協会に入信し、多額の献金。破産後も献金し続け、自分たち兄弟の生活を根本から狂わせてしまった」と思いこみ、団体と繋がりがあつた安倍元首相にも怨みをいだき襲撃したようです。

旧統一協会は霊感商法で社会問題となり、名称を世界平和統一家庭連合と名称変更して宗教法人として残りました。旧統一協会は1945年に故文鮮明氏によって韓国で創設され、日本では1964年に宗教法人として設立されました。世界中から男女が集まる合同結婚式で知られ、収入の10分の1を献金することを奨励しています。

政治家との関係は、「共産主義からの解放」を掲げ1968年につくられた政治団体「国際勝共連合」からです。戦後の政財界に強い影響力のあつた故笹川良一氏が名誉会長に就任し、安倍晋三元首相の祖父・岸信介元首相が賛同し、選挙協力を深めていったのです。

浄土真宗の開祖・親鸞聖人は正像末和讃で、「罪業もとよりかたかなし 妄想顛倒のなせるなり 心性もとよりきよけれど この世はまことのひとぞなき」と述べられています。この世で起こることは善が悪になり、悪が善となるように、それぞれの立場からしか善悪を見えない。だから自分の立場からしか善悪を判断できず、根拠のない判断であり、逆さまに物事を見えています。心は本来清いけれど、いつの間にか自我中心となり、我欲まみれでも気づかない。だからこの世は真ある誠実な人はいない」と歎かれています。

若者よ、人生をしっかりと見つめようよ。今をどうやって生きていくか。誰と生きていくか。何を大切に生きていくか。都市か、地方か、どこで、誰と、どう生きていくのか考えよう。合掌 (奥原 曇龍)

『秋彼岸人生静かに見つめよう 誰とどうやってどう生きていく』 どんりゅう

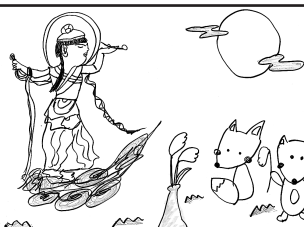
日時・九月 八日「木曜日」 午前十時から十二時まで。

『歎異抄(たんにしょう)に学ぶ』

場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方

[心光寺](#) [倉敷](#) [検索](#)



カット：奥原 綾

ともしび説法



お釈迦様ものがたり 71

お釈迦様は今から2500年前にインドで人間の生きる真理を究り、人間とは何か、人間らしいあり方を追求された方です。

当時、インド第一の強国であったマガダ国は、何もかも新しい文化や考え方を取り入れ発展していた国であり、インド伝統のパラモン教の教えに反発し、自由な考え方や生き方をしている人が多くいました。釈迦族のお釈迦様も29歳で出家して、600キロも離れた遠いマガダ国で師を求め修行したのです。しかし、真理を覚る師に出会えず、お釈迦様は菩提樹下で一人静かに覚ります。やがてマガダ国で仏教教団は発展し有名になります。

その後、コーサラ国の長者スタッタ(給孤独)と出会い、スタッタの願いによってインド第二の強国であったコーサラ国に、49歳の頃に仏教を広めることになりました。コーサラ国も新興国でしたが、威厳を保つためにも形式的な古い祭祀儀礼をはなげなく行っていたので、仏教の新しい哲学や、人間らしい生き方やあり方という考え方を、嫌悪し蔑視したので、布教は進みませんでした。

ある時、お釈迦様は祇園精舎から首都舎衛城へ托鉢に出られたとき、バラドワージーという拜火バラモンの家の前を通り、そこに火が祀られ供物がそなえられていました。バラモンはお釈迦様を見て嫌悪を感じ、「卑しいクソ坊主、そこに生まれ。神聖な場所に近づくな」と大声で叫びました。

お釈迦様は、「バラモンよ、そなたは、卑しい人間とは誰か、なんで賤民といわれるかを知っているか」と問われました。無学なバラモンは答えることが出来ず、お釈迦様にその意味を尋ねました。お釈迦様は「怒りある者、怨みを抱く者、無慈悲にして生類を殺す者、人民を苦しめる圧制者。他人ものを盗む者、人を襲い殺し奪う者、父母を孝養しない者」等と答えられました。合掌(奥原豊龍)

孫達と共に参ろう秋彼岸 心に宿るほのぼののとしび 田辺多恵子



8月13日 お盆の会合同法要(心光寺本堂にて)

ともしび法話

9月は秋のお彼岸月。虫の音がまだ弱々しいですが、早く涼しくなって欲しいですね。皆様、お元気で過ごして欲しいです。新型コロナウイルスも治まらず、また、あちこちで大雨が降り、河川が氾濫、住宅が浸水した地域の皆様にお見舞い申し上げます。心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

「不条理」人間としての人格も、良心も、平和も、希望も、世の全ての価値観も、不条理の中に、木っ端みじんになってゆくのか。他国のニュースだが背筋が寒くなってゆく温かな日差しの下に花は咲き、畑の苗は着々と伸びゆく中に虚しさを感じる 倉敷市四十瀬 本多キミ子

猛暑や新型コロナウイルスの中で、一年間無事に生活できたことに感謝です。 倉敷市中島 塩津由美子
今年の9月はまだまだ猛暑が続くようですが、9月23日の午前に心光寺で秋のお彼岸合同法要があり、皆様ご参加下さい。 倉敷市藤戸天城 福原 浩子

ともしび説法

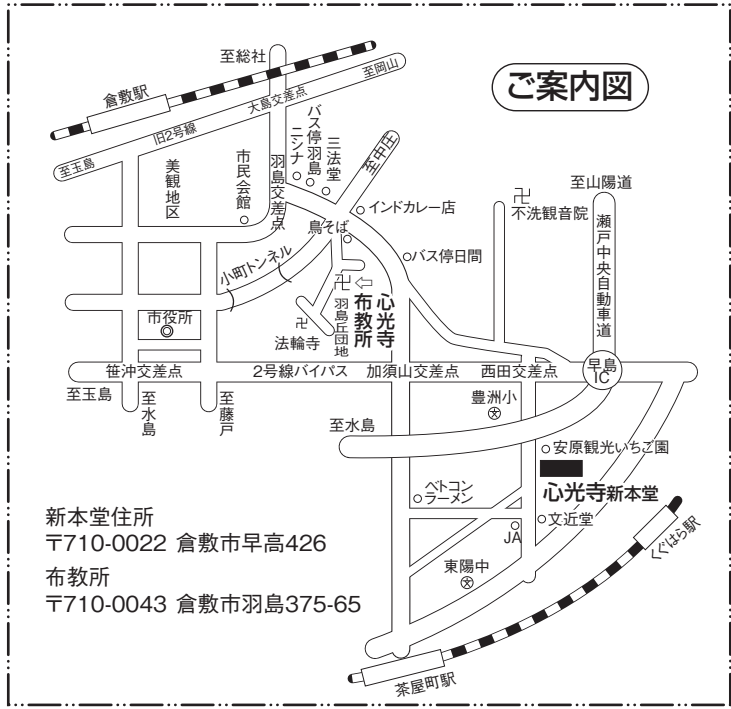
日時・九月 八日「木曜日」 午前十時から十二時まで。

『歎異抄(たんにしよう)に学ぶ』

場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
電話・(086)420-1311 駐車場有り

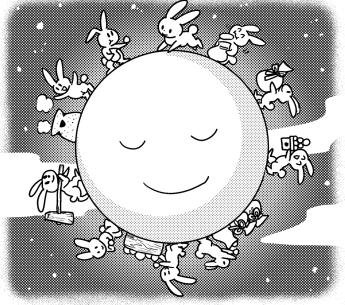
○ともしび説法・お寺の行事予定
十月 七日(金)・午後一時半から午後四時・早高の本堂。
十一月 三日(木)・午後一時から午後四時頃・早高の本堂。

秋の報恩講法要・法要儀式・仏教講演
☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。
ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。
会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)



- ◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございます。
倉敷市 小山様 3千円
倉敷市 山本洋一郎様 倉敷市 角南様 樋口様 藤原様 4千円
倉敷市 藤原力様 岡山市 岡根恒夫様 5千円
倉敷市 山形田鶴子様 1万円
倉敷市 梶原様 2016円切手

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらいより、自分でお寺は決めよう。



カット:吉岡美枝

こころの詩 庭に虫の音が聞こえる 去りゆく猛暑にほっとする 真剣に暑いときは暑いように すべてを受け入れながら 誠実にありたいと願っても そんな心はすぐに飛んでいく 涼しい秋よ 早く来い

〒710-0022 倉敷市早高426 浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺 TEL(086)420-1311 FAX 420-1322 携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「392号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法の日には、茶屋町駅西口に12時30分に、お寺より自動車でお迎えに行きます。自動車の送迎が必要な方は、心光寺までご連絡下さい。合掌 心光寺 総代長 本家豊彦